

- 展覧会名 飛鳥資料館 令和6年度 秋期特別展
「水と暮らしの風景史—古地図と景観がひらく飛鳥」
- 開催期間 令和6年10月4日(金)～12月1日(日) 月曜日休館
※10月14日(月・祝) 11月4日(月・振休)は開館し翌火曜日が休館
※11月3日(日・祝)無料観覧日
- 展示会場 奈良文化財研究所飛鳥資料館
(〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601)
- 主 催 奈良文化財研究所飛鳥資料館
- 後 援 文化庁、近畿日本鉄道株式会社
- 開館時間 午前9時から午後4時30分 入館は午後4時まで
- 入 館 料 一般：350円 大学生：200円
高校生及び18才未満、70歳以上(年齢のわかるものが必要)は無料
心身に障がいのある方と付添者1名は無料。手帳などのご提示が
必要です。
- 交 通 近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から 明日香周遊バス(赤かめ)で「明日香奥山・
飛鳥資料館西」下車、または近鉄・JR桜井駅から 奈良交通(36系統：明日香
奥山・飛鳥資料館西行)バスで「飛鳥資料館」下車
- 名 称 奈良文化財研究所 飛鳥資料館
- 所 在 地 奈良県高市郡明日香村奥山601
- 電 話 0744-54-3561
<https://www.nabunken.go.jp/asuka/kikaku/post-45.html>
- 展示点数 展示品 30点
- 展覧会図録「水と暮らしの風景史—古地図と景観がひらく飛鳥」
販売価格 1部1,600円

関連イベント

●関連講演会「飛鳥のみかた」（事前申込不要）

第1回 10月12日（土）「田んぼの見方—明日香村の灌漑システムを読み解く」

講師 恵谷浩子（奈良文化財研究所文化遺産部景観研究室長）

第2回 11月2日（土）「古地図の見方—江戸・明治の飛鳥の風景を読み解く」

講師 竹内祥一郎（奈良文化財研究所飛鳥資料館学芸室研究員）

会場：飛鳥資料館 講堂

開場・開演：両日とも午後1時開場、午後1時半開演

終了：午後2時半頃

※事前申し込みは不要です。参加には観覧料が必要です。

●ギャラリートーク（事前申込不要）

10月10日（木）午後2時から

11月21日（木）午後2時から

特別展示室にて

※事前の申し込みは不要です。

●ウォークイベント 奈文研研究員と歩く飛鳥「水と暮らしの風景をたどる」

11月9日（土） 午後1時～3時

見学ルート 飛鳥資料館特別展示室（展示解説）→狂心渠（たぶれごころのみぞ）推定地→

大官大寺跡→小山集落→法然寺→木之本集落→下八釣集落→藤原宮跡資料室

案内人 竹内祥一郎（奈良文化財研究所飛鳥資料館学芸室研究員）

定員 20名

（事前申込制）

※参加には観覧料と事前の申し込みが必要です。

申込み方法などの詳細はホームページをご覧ください

<https://www.nabunken.go.jp/asuka/info/2024/07/post-489.html>

●同時開催「文化的景観20年記念パネル展」

会場：飛鳥資料館1F ロビー

主催：奈良文化財研究所 飛鳥資料館・文化庁